

コーヒー業界の財務分析

2023年7月19日（水）

財務診断研究会

中小企業診断士 早津 久美子

目次

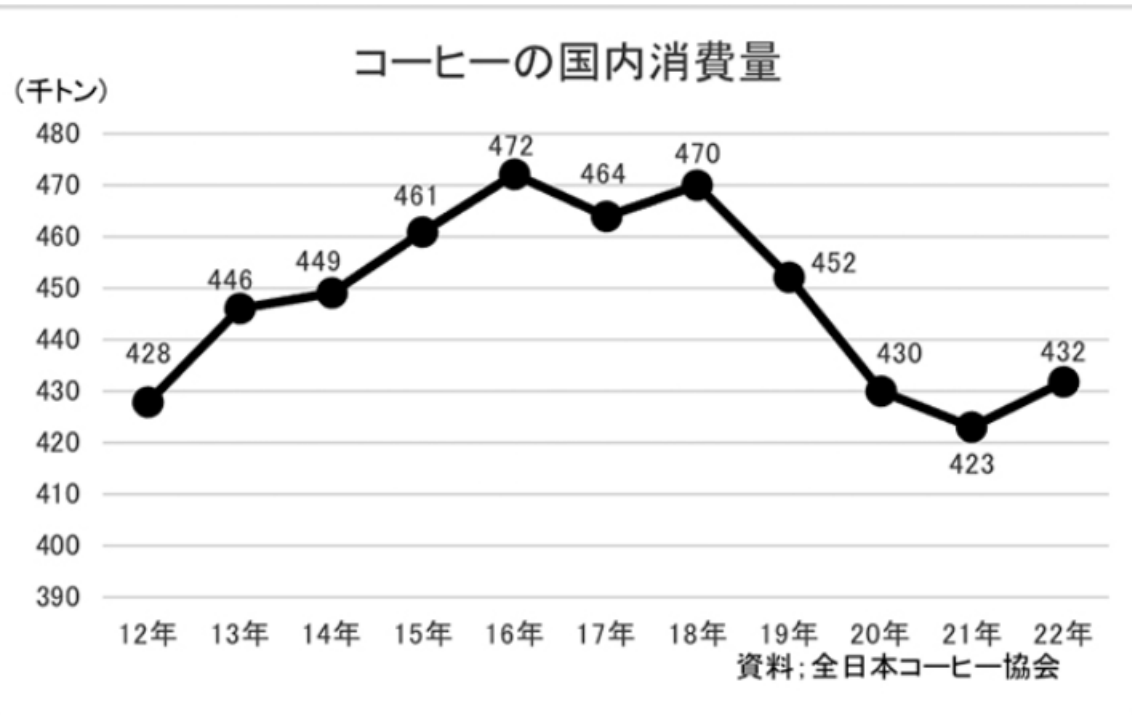
1. 日本標準産業分類
2. コーヒー業界の現状
3. コーヒー業界の課題
4. コーヒー業界の今後のトレンド
5. 事例企業の概要（3社）
 - ①キーコーヒー（株）
 - ②（株）ユニカフェ
 - ③（株）コメダホールディングス
6. 個人ワーク

1. 日本標準産業分類

| 大分類 | E | 製造業 |
|-----|---------|--------------------|
| 中分類 | 1 0 | 飲料・たばこ・飼料製造業 |
| 小分類 | 1 0 3 | 茶・コーヒー製造業（清涼飲料を除く） |
| 細分類 | | 1 0 3 2：コーヒー製造業 |
| 大分類 | I | 卸売業、小売業 |
| 中分類 | 5 2 | 飲食料品卸売事業 |
| 小分類 | 5 2 2 | 食料・飲食料卸売事業 |
| 細分類 | 5 2 2 6 | 茶類卸売業 |

2. コーヒー業界の現状①

コーヒーの国内消費量が4年ぶり増加、人流回復による外食での需要増で



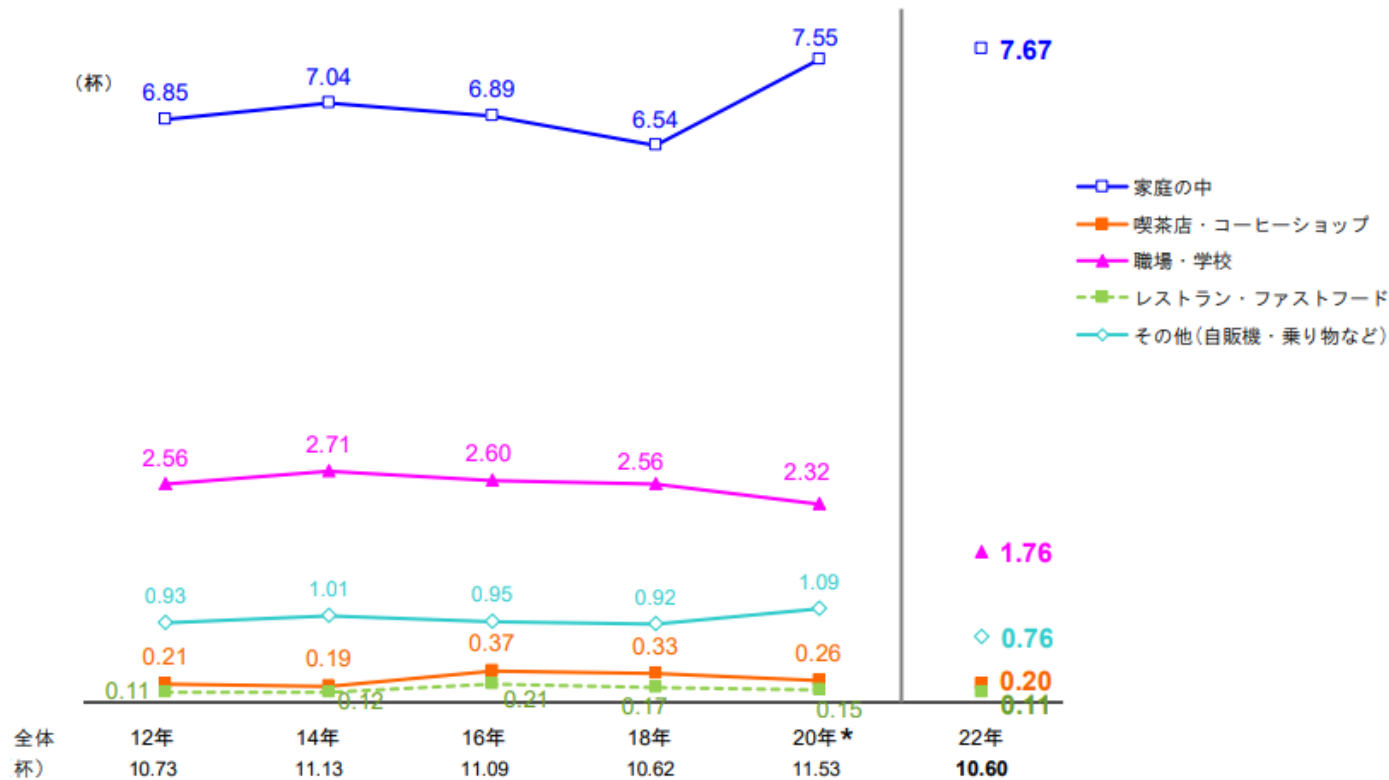
コーヒーの国内消費量

2020年の新型コロナウイルスの影響により、外出機会が減ったことでカフェ等の利用が減り、需要が減少したが、2022年度以降、徐々に回復傾向にある。

引用；食品産業新聞社記事より抜粋

2. コーヒー業界の現状②

◎ 1週間当たりの平均飲用杯数(場所別)



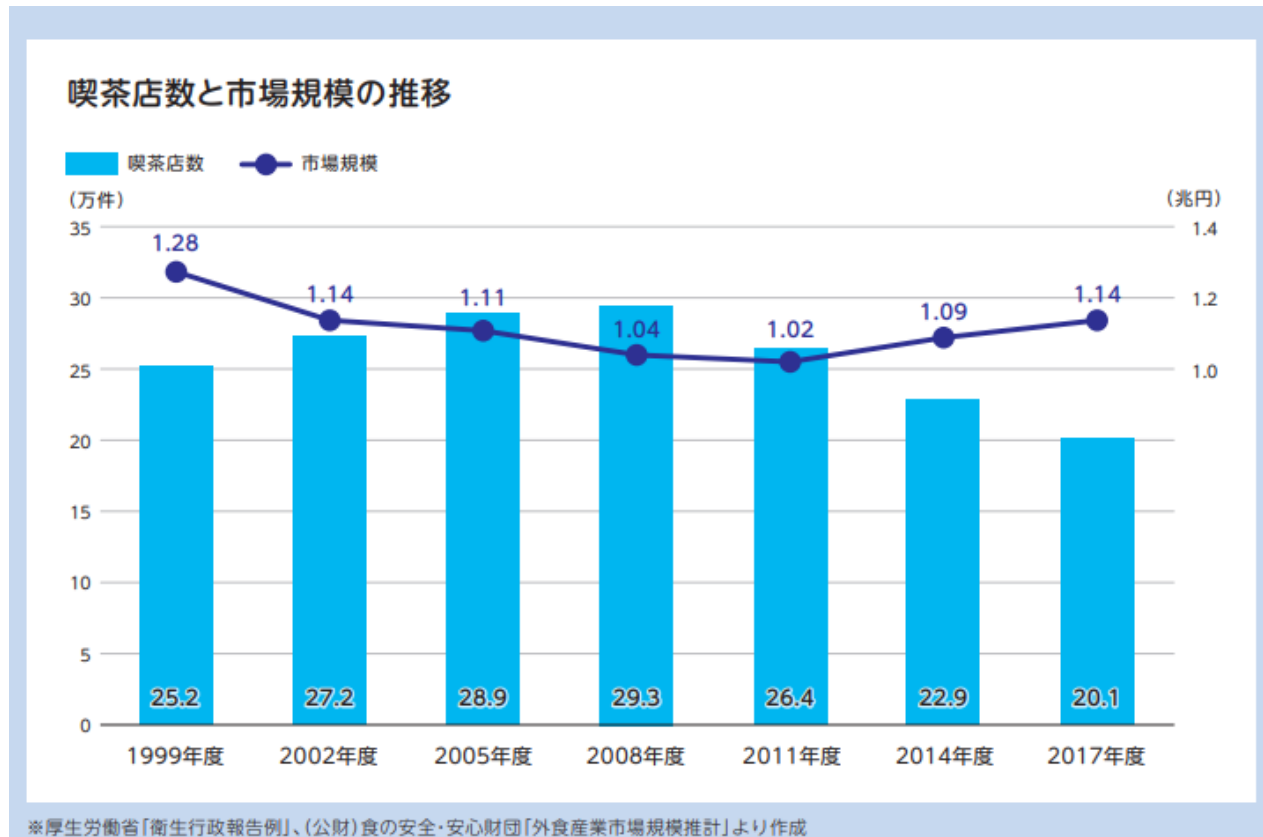
- ・ 1週間当たりのコーヒーの平均飲用杯数は22年度では10.6杯。
- ・ 家庭の中で飲む機会が一番多い(22年度では72%程度)。

注1) 20年は郵送調査法で実施。22年はWEB調査実施しているため時系列でみることはできない。

注2) 飲用場所不明のケースがあるため、場所別の合計と全体の数値は必ずしも合致しない。

引用：全日本コーヒー協会統計資料より

2. コーヒー業界の現状③



- ・喫茶店市場の市場規模は安定傾向。ここ20年は1.04～1.28兆円で横ばいで推移。

- ・一方コンビニコーヒーの台頭等で競争相手が多様化している。

引用：厚生労働省「今日から実践！収益力の向上に向けた取り組みのヒント 喫茶店営業編」より抜粋

2. コーヒー業界の現状④

チェーン店別 店舗数ランキング

| 順位 | チェーン名 | 2022年1月 | 2023年1月 | 増減率 (%) |
|-----|------------------|---------|---------|---------|
| 1位 | Starbucks Coffee | 1,696 | 1,784 | +5.2 |
| 2位 | ドトールコーヒーショップ | 1,069 | 1,046 | -2.2 |
| 3位 | 珈琲所 コメダ珈琲店 | 911 | 924 | +1.4 |
| 4位 | タリーズコーヒー | 753 | 757 | +0.5 |
| 5位 | 快活CLUB | 511 | 502 | -1.8 |
| 6位 | サンマルクカフェ | 360 | 333 | -7.5 |
| 7位 | 星乃珈琲店 | 285 | 287 | +0.7 |
| 8位 | 珈琲館 | 213 | 208 | -2.3 |
| 9位 | CAFE de CRIE | 182 | 182 | 0 |
| 10位 | PRONTO | 188 | 179 | -4.8 |

- カフェチェーン店ではスターバックスコーヒーが大きな割合を占める。
- 第3位のコメダ珈琲店は第2位のドトールコーヒーに迫る勢い。

引用：日本ソフト販売(株)ブログより抜粋

3. コーヒー業界の課題

■現状のコーヒー業界が抱える課題

- ・気候変動 ・世界情勢 ・天災
- ・為替変動
- ・コスト上昇（人件費、エネルギー、物流等）他
- ・2050年問題

地球温暖化による気候変動の影響により、2050年にはアラビカ種の栽培地が現在の50%減となることが懸念されている。

世界の人口の増加に伴うコーヒー需要の増加によって2050年にはコーヒーの供給量が大幅に減少する見込み。

4. コーヒー業界の今後のトレンド①

■アメリカのコーヒーブームの変遷

1. ファーストウェーブ(1800年代～1970年代)

インスタントコーヒー等の普及により、庶民に急速に広まった。
大量生産大量消費が特徴で味の追求はなし（浅煎りコーヒー）。

2. セカンドウェーブ(1970年代～1990年代)

品質にこだわり、味の追求がなされた時代（深煎りコーヒー）。
スターバックス等のシアトル系コーヒーが有名。サードプレイス。

3. サードウェーブ(1990年～現在)

一杯ずつ丁寧なハンドドリップで丁寧に淹れるスタイル。
コーヒーを飲む「体験」を重視。
ブルーボトル・カンパニーが有名。
日本ではもともと純喫茶で行われていたスタイル。

4. フォースウェーブ？（現在進行形）

自宅でじっくり丁寧に淹れて味わうコーヒースタイル。

4. コーヒー業界の今後のトレンド②

■ コーヒー業界の今後のトレンド

キーワード「**多様性**」「**見える化**」

- ・ だれが作ったコーヒーか。
- ・ どこで作られたコーヒーか。
- ・ どのようにして作られたコーヒーか。
- ・ 値段は適正か。
- ・ 味や品質等

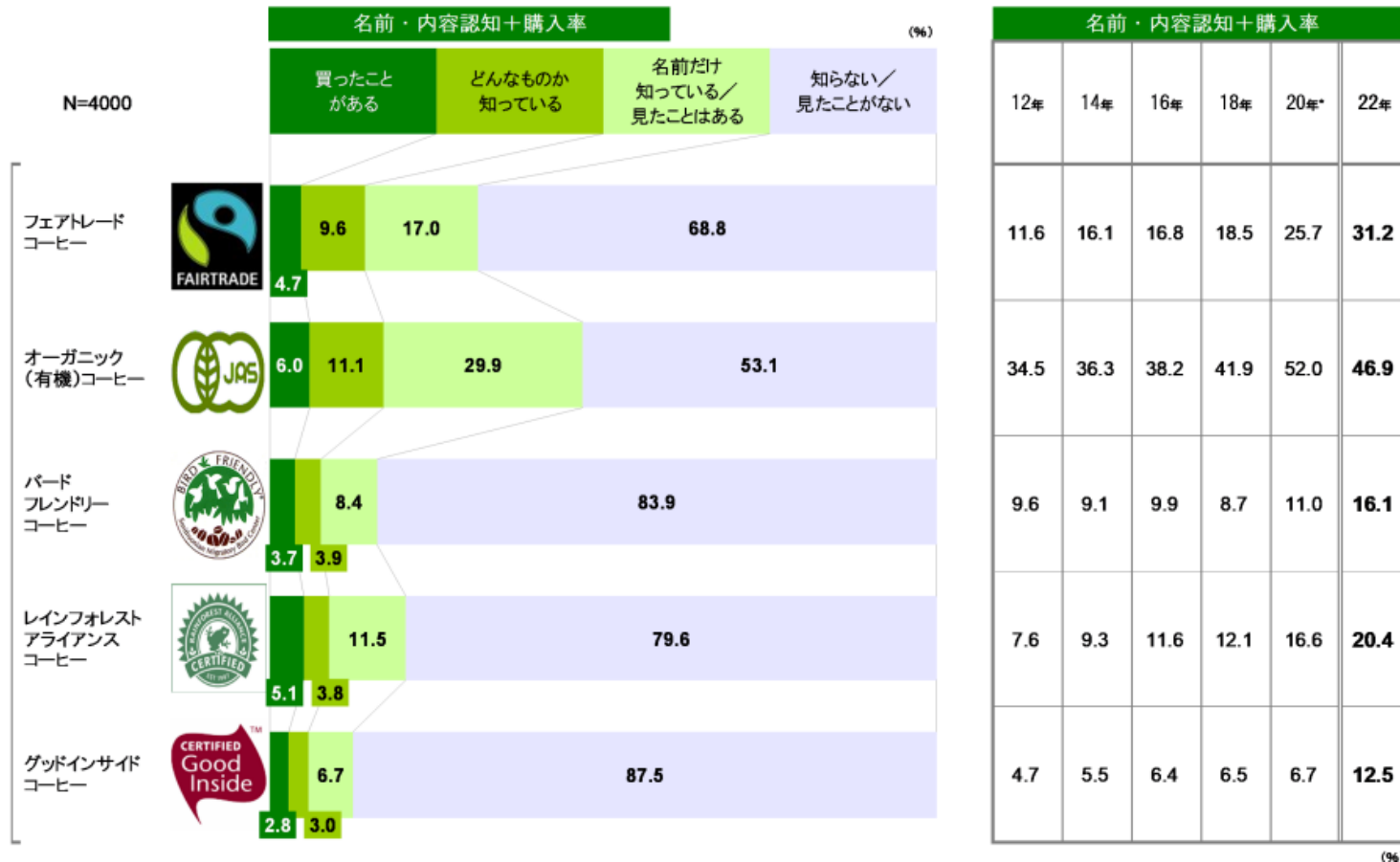
その他

- ・ サステイナブルコーヒー
- ・ ノンカフェインコーヒー
- ・ スペシャルティコーヒー
- ・ ご当地コーヒー等

4. コーヒー業界の今後のトレンド③

◎ 認証コーヒーの認知

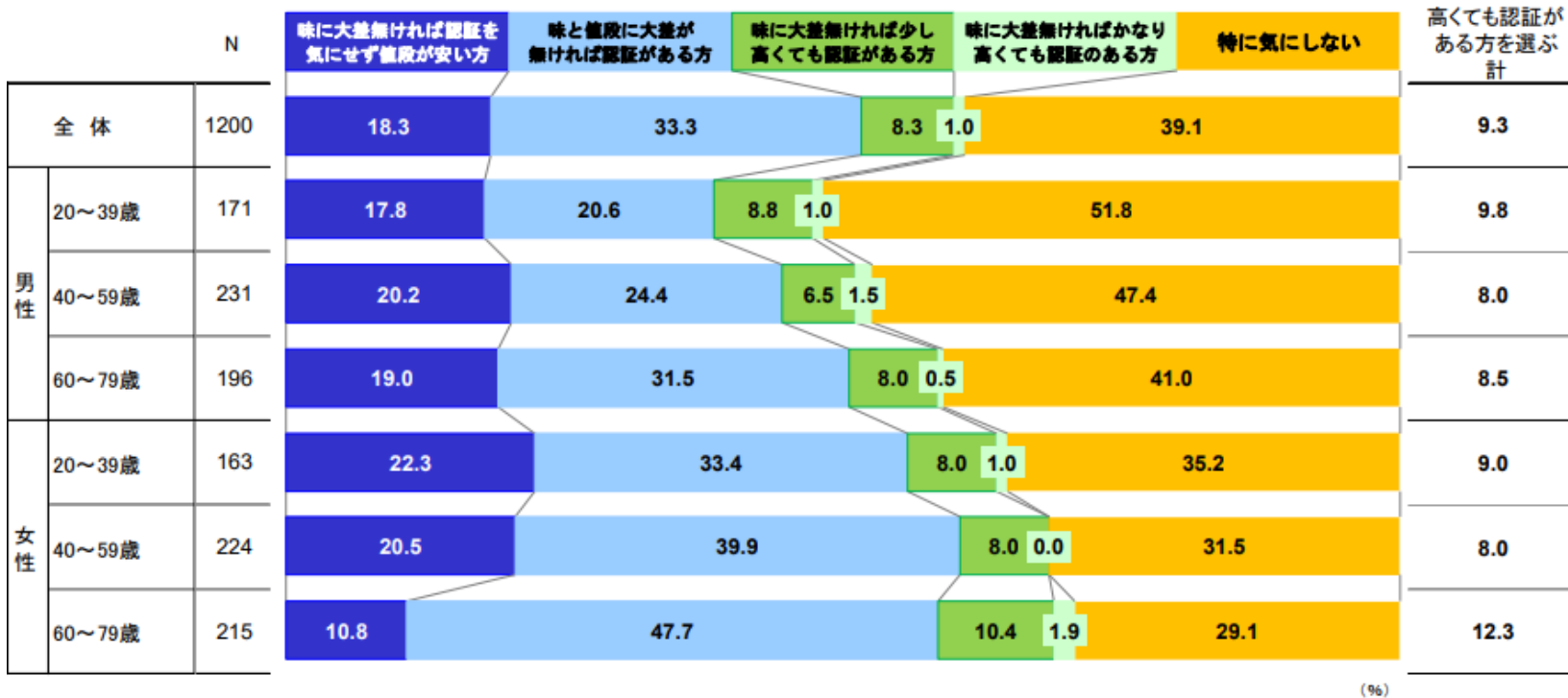
・日本における認証コーヒーの認知度はまだまだ低いですが、少しずつ認知度が高まっている。



引用：全日本コーヒー協会統計資料より

4. コーヒー業界の今後のトレンド④

◎ 認証コーヒーの購入に対する態度



世代や性別によって差はあるものの、「味と値段に大差が無ければ認証がある方」「味に大差がなければ少し高くても認証がある方」を含めると30%～60%の割合になる。

引用：全日本コーヒー協会統計資料より

5. 事例企業の概要（3社）

| 会社名 | キーコーヒー(株) | (株)ユニカフェ | (株)コメダホールディングス |
|----------------|--|--|--|
| 本社所在地 | 東京都港区西新橋 | 東京都港区赤坂 | 愛知県名古屋市 |
| 設立 | 1952(昭和27)年10月（創業 1920(大正9)年8月） | 1972年(昭和47)年11月 | 2014(平成26)年11月 (創業1968(昭和43)年1月) |
| 資本金 | 4,628百万円 | 2,514百万円 | 651百万円 |
| 上場市場名 | 東京証券取引所 プライム 市場 | 東京証券取引所 スタン ダード市場 | 東京証券取引所 プライム 市場 名古屋証券取引所 プレミ ア市場 |
| 主要株主 (上位3位) | <ul style="list-style-type: none"> ・博友興産(有)10.47% ・日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 8.72% ・キーコーヒー取引先持株会 2.82% | <ul style="list-style-type: none"> ・ユーシーシーホールディングス(株) 52.44% ・三菱商事(株) 9.86% ・日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 2.94% | <ul style="list-style-type: none"> ・日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 13.36% ・(株)日本カストディ銀行 9.04% ・(株)かんぽ生命保険 1.76% |

5. 事例企業の概要①

■キーコーヒー株式会社

【企業理念・行動規範】

「コーヒーを究めよう。

お客様を見つめよう。

そして、心にゆたかさをもたらすコーヒー文化を築いていこう。

【事業内容】

海外におけるコーヒー農園事業から、コーヒーの製造、販売ならびにコーヒー関連事業経営に至るまでのコーヒーに関する総合企業。

5. 事例企業の概要①

■キーコーヒー株式会社

【主要取扱商品】

- ・レギュラーコーヒー
(業務用、家庭用、原料用、オフィス・自動販売機用)
- ・コーヒーギフト及びコーヒー加工品
- ・コーヒー飲料及びコーヒー関連商品
- ・キーブランド飲料、食品
(フルーツジュース、フルーツシロップ、コーヒーシュガー他)
- ・他社ブランド飲料、食品
- ・コーヒー関連器具(コーヒードリッパー、コーヒーフィルター他)

5. 事例企業の概要①

■キーコーヒー株式会社

【連結子会社】

- ・ 株式会社イタリアントマト
- ・ 株式会社アマンド
- ・ ニック食品株式会社
- ・ キーアソシエイツ株式会社
- ・ キーコーヒーコミュニケーションズ株式会社
- ・ 株式会社キョーエイコーポレーション
- ・ スラウェシ興産株式会社
- ・ PT.TOARCO JAYA
- ・ honu加藤珈琲店株式会社
- ・ 有限会社オーギュスト
- ・ 台湾キーコーヒー株式会社

【関連会社で持分法適用会社】

- ・ 株式会社アイラ沖縄
- ・ 株式会社銀座ルノアール

5. 事例企業の概要②

■株式会社ユニカフェ

【企業理念】

「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」

【関係会社の状況】

親会社：ユーシーシーホールディングス株式会社

(資本金:100百万円、議決権の被所有割合52.8%)

連結子会社：株式会社アートコーヒー

(資本金：450百万円、議決権の所有割合100%)

5. 事例企業の概要②

■株式会社ユニカフェ

【事業内容】

- ・株式会社ユニカフェ：
 1. レギュラーコーヒー及びコーヒー加工品の製造販売
 2. 食品・食材及び飲料等の仕入販売
- ・株式会社アートコーヒー：
 1. コーヒーの焙煎・加工及び販売
 2. 食料品・飲料品の製造販売及び輸出入
 3. 飲食店施設の建設企画及び運営に関するコンサルタント業務

5. 事例企業の概要③

■株式会社コメダホールディングス

【経営理念】

「私たちは“珈琲を大切に作る心から”を通してお客様に
“くつろぐ、いちばんいいところ”を提供します。」

【事業内容】

コメダ珈琲店チェーン等を運営する株式会社コメダの経営管理を行う持株会社。株式会社コメダホールディングスの他、連結子会社4社で構成されており、連結子会社の株式会社コメダにて「珈琲所コメダ珈琲店」(968店舗)、コメダの和喫茶「おかげ庵」(13店舗)、「BAKERY ADEMOK」(3店舗)、「KOMEDA is 口」(1店舗)、テイクアウト専門店のコメダの大判焼き「大飴吉日」(1店舗)の5つのブランドで事業展開を行っている(2023年2月現在)。

5. 事例企業の概要③

■株式会社コメダホールディングス

- ・コメダ珈琲店の“くつろぐ、いちばんいいところ”であり続けるための4つのこだわり

①コーヒーへのこだわり

（看板商品であるコーヒーの毎日ブレのない「いつも同じおいしさ」を提供）

②おいしさへのこだわり

（メニューの充実、食品の安全管理等）

③おもてなしへのこだわり

（一人ひとりの“くつろぎ”に寄り添った心からのおもてなし。）

④居心地へのこだわり

（誰もがくつろげる「リビングルーム」としての空間を演出。）

6. 個人ワーク

財務諸表から読み取れる強みや経営課題を分析しましょう。

| | 着目した経営指標 | 強みや経営課題 |
|------------|----------|---------|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| その他気づいたこと等 | | |
| | | |